

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名: Radiator Stop Leak 2X Concentrate (ラジエーター2X 漏れ止め剤)

品番: 41194, RP-41194

用途: 冷却系漏れ止め剤

製造者: Rislone 10386 North Holly Road P.O. Box 187 Holly, Michigan 48442 TEL: 1-810-603-1321

輸入総発売元 株式会社リークラボ・ジャパン (旧社名:株式会社眞洋商会) 担当: 物部 智人

大阪市港区市岡元町3-3-21 TEL.06-6582-5497 FAX.06-6582-5495

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性個体	分類対象外
自然発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性個体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

人健康有害性:

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激劇性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない

生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
呼吸性呼吸器有害性	分類できない

環境有害性：

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：

吸入すると有害（ミスト）
 軽度の皮膚刺激
 眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 肺の障害のおそれ
 長期又は反復ばく露による肺、皮膚の障害
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き：

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 使用前に取り扱い説明書を入手すること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取り扱い後は手をよく洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを用意に外せる場合には外して洗うこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当を受けること。口をすすぐこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

成分/化学名	CAS Number	Wt.% (質量濃度)
水	7732-18-5	<98%
キシタンガム	11138-66-2	<1%
ヘキサト [®] -1,3,5-トリス (2-ヒドロキシethyl)-1,3,5-トリアジン	4719-04-4	<1%

4. 応急措置

目に入った場合：綺麗な水で目を洗淨。コンタクトレンズをつける場合は、コンタクトレンズを外して洗淨。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

皮膚へ付着した場合：付着部分を石鹼と綺麗な水で洗淨。汚染された衣服と靴を脱ぐ。再使用前、衣服をよく洗う。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気を摂取できる場所へ移動させる。毛布等で保温し安静に保ちすぐに医師の診断を受ける。呼吸しない場合には人口呼吸する事。

飲み込んだ場合：すぐに医師を呼ぶこと。無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

一般的なアドバイス：アクシデント又は気分が悪い場合は、すぐに医師の指示に従う。(可能な場合は商品のラベル若しくはMSDSを医師に見せる。)

医師に対する特別注意事項：すぐに症状が出ないかもしれない。

5. 火災時の措置

引火性：WHMIS (作業場危険有害性物質情報システム) 基準を満たすことにより、引火性なしということ。

消火剤：周囲の状況に適した消火方法を使用。

使用してはならない消火剤：特になし。

燃焼生成物：加熱時、火災時には有害ガス発生の恐れあり。

爆発資料：機械的な衝突への感知：分類できない。

静電放電への感知：分類できない。

消火を行なう者の保護：消火作業の際には防護・防火服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器などを着用のこと。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護服及び緊急時措置：作業の際には必ず防護服を使用の事。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項：ドレン、下水溝、排水溝そして水道に放出してはならない。環境汚染を防ぐため、水の使用を最小にすること。

回収・中和：不燃材料（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。下水溝又は水道への流入を防ぐ。作業の際には必ず専用の個人用防護具（PPE）を使用のこと

廃棄：原料を掬い取って、廃棄物処理法に従い産業廃棄物として処理すること。

その情報：当該なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・ 常温、換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性があります。保護メガネを使用するなどして目に入らないようにする。
- ・ 皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性があります。保護手袋等を使用するなど皮膚に触れないようにする。
- ・ 炎、火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにする。
- ・ 取扱いの後十分に洗浄すること。

保管：

子供の手の届くところに保管することは避ける。常に容器のフタをきつく閉めること。涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に保管し、熱・点火源及び直射日光を避けること。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策：必要に応じて通常排気装置を設ける。

成分/化学名

ACGIH-TLV

WHMIS(作業場危険有害性物質情報制度)基準該当なし。

技術者の制御：適切な換気を行なうことによって露出限界（ゴミ、煙霧、蒸気などの空気汚染基準を参照）以下になるよう空気濃度を維持する事。

目の保護：保護ゴーグルを着用すること。

皮膚の保護：適切な保護服やグローブを着用すること。

呼吸器官の保護：蒸気/ミストの吸引を避けること。必要に応じてマスクを着用する。

一般の衛生面への配慮：労働衛生的で安全に従って取り扱う。

9.物理的及び化学的特性

外観

臭気：無臭

物理状態：粘着性液体

臭気限界：測定データ無し

色：茶色

pH：8.0-9.5 (@20°C)

粘度：900 mPas (@20°C)

融点・凝固点：測定データ無し

沸点：100°C

引火点：なし

発火点：測定データ無し

蒸発速度：測定データ無し

引火下限界：測定データ無し

引火上限界：測定データ無し

蒸気圧：測定データ無し

蒸気密度：測定データ無し

比重（密度）：1g/cm³ (8.345lbs/gal)

水への溶解度：完全に溶解する

オクタノール・水分配係数：測定データ無し

自然発火温度：自然発火性なし

揮発性、wt.%：測定データ無し

揮発性有機化合物(VOC), wt.%：測定データ無し

注意：ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10.安定性及び反応性

安定性：通常の取扱い条件(常温・常圧)の下で安定。

反応条件：非両立性の物質。分解点以上に加熱すると、有毒ガスが放出される可能性あり。

非両立性の物質：強酸、酸化剤

危険な分解生成物：一酸化炭素、二酸化炭素

危険有害反応可能性： 通常使用の条件下で、危険反応なし。

11.有害性情報

急性被爆の影響：該当なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：軽い炎症を引き起こす可能性有り。

皮膚感作性：目や鼻及び連続した吸入により呼吸器官に炎症を引き起こす場合がある。

長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り。

飲み込んだ場合：有害になるかもしれない。胃の不調、吐き気、嘔吐を引き起こす可能性有り。

呼吸器感作性：気道刺激症状を引き起こす可能性有り。

慢性被爆の影響：分類できない。

特定標的臓器：分類できない。

慢性影響：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

発がん性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

成分/化学名 発がん性物質又は可能性のある発がん性物質として化学製品

WHMIS(作業場危険有害性物質情報制度)基準を該当できない

※詳しくの情報は15.部分にご参照

突然変異誘発性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

生殖毒性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

発生效果：

催奇性： 作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

胎児毒性： 作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

呼吸の鋭敏化： 作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

肌の鋭敏化： 作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

中毒学的相乗効果の物質： 分類できない。

12.環境影響情報

生態毒性：有用な情報無し。

残留性・分解性：有用な情報無し。

生態蓄積性：有用な情報無し。

土壌中の移動度：有用な情報無し。

13.廃棄上の注意

廃棄：廃棄物処理法等に従って廃棄すること。

特別な指示：指導が必要であるかどうか必ず適切な政府環境機関に連絡・確認すること。

14.輸送上の注意

TDG分類：規制対象外

IMDG分類：規制対象外

IATA分類：規制対象外

共通注意事項：取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては容器に漏れないことを確認し、落下・損傷しないように注意する。

15.適用法令

国連規則：

SARA：規制対象外

TSCA：適合する

IARC：規制対象外

16.その他の情報

引用文献等：

- (1) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
- (2) 「化学物質の自主的な管理の改善を目指して」（中小企業基盤整備機構）
- (3) 「化学物質審査規制法対応講習会テキスト」（中小企業基盤整備機構）
- (4) 化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）
- (5) 日本工業標準調査会JIS Z 7250

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。色々危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の実施を前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上で御利用願います。

－ SDS の終了－